

り、配分数量も299ト増の1万

9, 665トが配分された。
(町の平均反収51kg/10ア)

・酒米の動向

吟風、初稔2品種を作付し
てきたが、平成18年度からは
吟風1品種を作付している。
平成21年度は15戸で7, 69

7アの作付予定。

(2)平成21年度農業農村整備事業の概要について

平成9年度より30億9, 7
40万5千円の全体事業費で
実施されてきた。平成21年度
は12地区で実施され、16億2,
380万円で農地整備事業が
行われる。(平成21年度終了で
進捗率79・8%)

(3)景気の悪化に伴う緊急経済対策について

①中小企業事業資金保障融資
事業改正

ア、連帯保証人数の緩和

連帯保証人数を「2名以上」
から「1名以上」に変更する。

イ、借主最低負担利率「1%」
の撤廃

利子補給補助に際し、借主
が最低1%分の利子負担を行
う規定の撤廃。

ウ、利子補給補助の一時的な

拡充

利子補給率を「2分の1」

から「10分の10」に拡充。た
だし、上限利率は5%とする。

(平成21年1月1日から平成
24年3月31日まで)

②商工会割増付商品券発行事
業

雨竜町商工会との広域連携
事業として、共通の割増商品

券を発行し購買力流失を防
ぐ。一口1万円(1万2千円

分の商品券)を3千口販売。
ただし、一人3口(3万6千

円分の商品券)を限度とする。
有効期限は平成21年8月31

日。町の補助は600万円。

③国・北海道融資制度利子補
給事業

対象者は、本町において1
年以上継続して事業を営んで

いる中小企業の商工業者(新
規開業者はこの限りでない)。

利子補給額は、1社につき
該当年度返済利子総額の2分

の1以内で50万円を限度に支
給する。

(4)平成20年度の除排雪の状況について

2月24日までの町除雪セン
ター前での観測データは降雪
536cm、降雪日62日、積雪深86

cm、除雪車出動35回であった。

(5)小学校統合に係るスクールバスの運行計画について

登校便は、各方面から中学
校及び小学校へ3台体制で運

行し、下校便については、お
よそ1時間毎に3台、または

4台体制で運行。
児童・生徒の利用予定者数

は大和方面59名、西部方面41
名、花月方面63名で、ほぼ満

席の状態。

議員研修報告

町村議会議員特別セミナー

後木 幸里

場所 市町村職員中央研修所
(千葉県千葉市)

期間 平成21年2月16日から
17日まで

去る2月16日、17日の2日
間にわたり千葉県にある市町
村アカデミーにて、全国から

45名が参加して行われた研修
会の参加報告をいたします。

1日目は、2人の講師によ

る講義があり、1人目は、総
務省官房審議官・望月達史氏

による「分権時代の地方財政」
と題し講義を受けました。本

年度政府予算と補正予算の中
身について伺いました。現時

点では本町においても、3月
定例議会に補正予算として上

程され可決をみた予算などで
した。2人目は、立教大学教

授・山口義行氏による「アメ
リカ発の金融破綻について」

でありました。

2日目は、東洋大学教授・
青木辰司氏による「グリーン

ツーリズムの意義と今後の展
開」と題しお話を伺いました

が、これについては、本町に
おいても3年程前から導入実

施されていることについてで
した。最後の講義は、落語家・

桂才賀氏による「人との出会
いは人生の宝」と題しお話を

伺いましたが、この方は日本
テレビ、笑点のレギュラーと

して活躍した時があり、今は
ボランティアにて全国の少年

院や刑務所の慰問活動をして
おり、特に少年少女について

問題提起をしながら本を出版
し、親子関係に切り込んだ話

や内容には感銘することが多
く、大変勉強になりました。

編集後記

いよいよ本町も小学校が一
校となりました。小規模であ
っても、心が癒される大和小
学校の入学式が懐かしく思い
出されます。真新しいランド
セルと一緒にスクールバスを
見送る親の気持ちは？

さて、三月定例議会では、
国の第二次補正予算を受け、
超大型の補正予算を可決しま
した。久しぶりに多くの土木
や建設関係工事が発注される
ことになる今春、町内建設関
係者にとって朗報となること
と思います。景気の低迷が続
き、公共事業が大きく落ち込
んでいただけに、これを契機
に町に活気が戻ってくれるこ
とを願います。

(樋坂)

【議会広報特別委員会】

委員長	西永 勝治
副委員長	樋坂 里子
委員	青田 良一
	山田 秀明
	笹木 正文
	岩木 雅徳